



一も感謝二も感謝、感謝報恩に奮い立つもの、幸福の訪れめ理由はない。(ご聖訓第七巻93頁)

### 解脱金剛 73 年祭

## 国の礎世の鎮め、麗しい令和の御代を拓く

金剛さまの祥月命日である11月4日、京都・御寺泉涌寺において解脱金剛73年祭が執り行われ、金剛さまの御法要と今年度の解脱金剛宝塔内に齋祀される精霊34体・37霊の法要が営まれた。



齋祀精霊を奉持し金剛宝塔へ力強く参進



上村長老猊下導師のもと、御法要を厳修



第二部奉斎の儀・敬白文を奏上される岡野理事長

新型コロナウイルス感染症対策として、今年も昨年同様、参加人数を650人に制限し、全国会員代表が参列した。御寺泉涌寺大門付近に設置した受付で、手指の消毒、検温、参加者用リボンの確認を行った。会場はソーシャルディスタンスをとるため、間隔を空けて椅子席が設けられた。

秋晴れに恵まれる中、午前10時30分、御法要に先立ち、解脱金剛宝塔前で岡野英夫理事長はじめ本部役員により奉告祭が行われた。その後、舍利殿に岡野理事長、渡辺孝彦顧問はじめ、本部役員、今回齋祀される精霊の遺族、最後に導師、職衆が入室された。

正午、第1部御法要が開式。御宝前にて岡野理事長が敬白の文を奏上された後、導師の上村貞郎長老猊下と職衆により、解脱金剛法要、引き続き宝塔内齋祀精霊の法要が営まれた。今回は、令和2年1月に霊界入りした、故・岡野正名誉顧問が齋祀された。

式辞で岡野理事長は「解脱金剛宝塔にお鎮まりになられている、金剛さまをはじめ数多の先人、先覚者の御精霊は国の礎、世の鎮めとして未来永劫に渡り、お

働きくださっております。私たちもまた、現在の困難な状況を打破し、金剛宝塔に鎮まります御精霊とともに、我々自らの手ですべての命が調和する新しい世界、麗しい令和の御代を切り拓いていくことを共々にお誓いさせていただきましょう」と述べた。

献納の儀では岡野理事長より上村長老猊下へ浄財が手渡され、続く挨拶の中で上村長老猊下は、御礼に続いて「コロナ

収束後は境内いっぱいにお参りされての法要を望んでいます」と述べられた。

続いて齋祀精霊が奉持され、解脱金剛宝塔へ岡野理事長、本部役員らと遺族が参進し、第2部奉斎の儀が行われた。焼香、勤行と続き、岡野理事長が挨拶を述べた後、自由参拝となった。

なお、当日の行事の様子は本会ホームページ会員専用ページにて視聴することができます。

### 関西圏域・清掃奉仕

## 秋晴れの中、真心からの清掃



関西圏域では11月1日、御年祭を前に御寺泉涌寺の清掃奉仕を行い、58名の会員が参加した。

昨年同様、コロナ禍による人数制限のため解脱金剛73年祭に参加できない会員にとっては、清掃奉仕という形での参加となった。清々しい秋晴れの中、

永田秀次大阪教区長の先達により、月輪御陵と御寺御本尊、そして金剛さまにご挨拶を行った。その後、柴田正美関西道場長より「コロナ禍で自粛モードの中であっても、御年祭に参加される方たちを気持ちよく迎えられるように致しましょう」と述べ、真心からの清掃奉仕を行った。清掃終了後は解脱金剛宝塔前で昼食を頂き、参加者たちは清々しい気持ちのまま、午後の関西道場報恩日に参加した。

第164回健康学園コース

# 健やかな家庭づくりのために

第164回健康学園コースが10月23日・24日の2日間、御霊地・解脱研修センターにて開催された。今回も同様にコロナ感染症対策を行い、家族や支部の仲間と2人1組での参加形態をとり、両日で計37名(23日:17名、24日:20名)が参加した。また、今回は4名の初参加者がいた。

午前10時開講。解脱3分間体操で体をほぐし、三浦純教育部長の開講挨拶の後、「解脱有食法」をテーマに、23日は小田敏郎相談役、24日は津村和範教育部主任がそれぞれ講話に立った。

小田相談役の講話では、断食の実体験などが語られ、「95歳を迎えた今も元気

な小田先生のお姿そのものが目標」と参加者から感想が寄せられた。

津村教育部主任は、効能や会員の体験談を交えて「天茶」について講話した。

続いて、西脇武利教育部次長から沖ヨガを取り入れた呼吸法を学んだ。

昼食後は、三浦教育部長(23日)、渡辺孝彦顧問(24日)による「健康指導を活用し、家庭、支部の活力を高める」をテーマに講話があった。

その後、足心道(23日、24日)、体位矯正法(24日のみ)に分かれて実習が行われ、参加者はそれぞれ家庭内で実践できる健康法を学んだ。

最後に、23日は滝沢寧健康指導委員、



24日は芳垣隆司健康指導委員がそれぞれ健康指導の大切さを述べ、天茶供養をもって終了した。参加者からは、「久しぶりに皆さんに会えて、嬉しかった」「実習時間をもっと長くって欲しかった」「矯正法の速効性に驚いた」などの感想があった。

本年の健康学園は教区健康指導担当員の研修を兼ねており、様々な形で担当員の活躍が見られる充実した研修となった。

神奈川教区・女性大会

## 真心で祈る大切さ学ぶ



神奈川教区は10月24日、湘南道場にて「祈り」をテーマに女性大会を開催し、福井恒明指導員が本部出講、コロナ禍で限定した各支部代表30名が集った。

大会では、事前に支部役員がテーマに沿ったアンケートを集め、それを参考に福井指導員が資料を作成、当日はその資料を基に福井指導員が自我を捨て真心で祈る大切さを講話した。参加者はこの日の学びを生活で実践すると共に、支部や家庭で伝えていくことを誓い合った。

北海道道南教区・修法研修

## コロナ禍でも御修業の実践を



北海道道南教区は10月24日、札幌道場にて修法研修を開催、本部出講の宮崎順史指導員のもと、修法シートに沿って「心願解消のできていないもの」をテーマに16名が研鑽した。

研修では、講義による学びと共に感染対策に留意しながら3グループに分かれての実修の後、宮崎指導員を囲んで質疑応答や意見、感想等を交わしながら互いの学びの糧とした。

参加者から「御五法修業は現在の心を認識する為にも大事。コロナ禍でもできる限りさせてもらいたい」との声があった。

岐阜関ヶ原支部・秋季怨親平等大供養

## 地元にも支えられ祈り捧げる



岐阜関ヶ原支部では10月17日、秋季怨親平等大供養祭を古戦場跡地にて挙行。新型コロナウイルス感染防止策を万全に整え、役場や自治会など地元各方面の承諾の下、会員のみで当日を迎えた。

早朝からの降雨で清められた当日、開式前には供養を待ち構えていたかのように青空がのぞく中、祭典は厳粛に執り行われた。

また、当供養祭は会員のみならず地元からも陰ながら支えられている。そのことについて支部役員は「供養を受けられた靈魂の喜びが現世に現れていると嬉しく受け取っている。金剛さまのご加護の下で次世代を担う青少年と共にお使いいただけたことに心から感謝申し上げ、地域社会や多くの皆様に喜んでいただけるよう、来春の供養祭に向けて精進努力して参ります」と話していた。

湘南道場・畳を新調

## 神静圏域会員の真心により



昭和31年11月18日に落慶された湘南道場の道場部分の畳108枚がこの度新調され、10月27日に畳替えの作業が完了した。新調された畳は、当道場を学びの拠点とする神奈川、静岡両教区の会員有志の真心からの勤募金によるもので、さらに会員有志から、道場前方部分やイス席に用いるじゅうたんも奉納されている。

福井恒明神奈川教区長は、「湘南道場に集う私たちは先人先覚者の遺志を継ぎ、この道場を核とし会員相互の結束をはかりつつ、み教えの大いなる発展に同心協力して着実な歩みを進めたいと切望するものです」と語っていた。

## 兵庫伊丹支部 80周年記念感謝会

## 金剛宝塔前で記念感謝会

葉が紅く染まり始めた解脱金剛宝塔前において、兵庫伊丹支部が10月31日に創立80周年記念感謝会を行った。

当日、清めの雨に続いて記念感謝会を祝うかのように澄み切った青空が晴れ渡る中、宝塔前へ参集した34名は今回参加が叶わなかった同志会員の思いを胸に、金剛さまと初代の水原又七支部長をはじめ宝塔内に齋祀されている先覚者へ「感謝と報恩」の奉告。支部会員は、四代目の柴田正美支部長が読み上げる敬服

の念を込めた奉告文に合わせ、より一層の努力精進を改めて心に誓った。

記念講話の中で阪田和男教区長が御皇室の尊さに触れ、「御寺泉涌寺という尊い場所で80周年記念感謝会を開催できる有り難さは金剛さまのお蔭」と述べると、支部会員の中から感激の声があがった。

続いて、解脱金剛宝塔前で会員一人ひ



とりが各々の思いを金剛さまに述べた後、会員代表から支部長夫妻にお礼の言葉と共に花束と記念品が贈呈された。

## 小樽色内支部 60周年記念感謝会

## 北前船に感謝・御礼を込めて

小樽色内支部では、10月13日に60周年記念感謝会を行った。

当支部は川端ツヤ氏が小樽中央支部へ導かれたのをきっかけに学びを深め、昭和36年に設立。初代支部長に川端勇関氏、2代目に妻の恭枝氏が継承。平成24年に信廣氏が3代目支部長を継承した。

記念感謝会では、積み重ねてきた歳月を振り返りながら、今日まで続けられたことの重要さを会員一同で共に慶び祝った。記念講演では、昨年、60周年を迎えた函館杉並支部の車康平支部長が「60

年は通過点。立教100年に向かって共に歩いていこう」と温かいエールを送り、互いの更なる発展を誓った。

また同日同支部にて、北の歴史を鑑みて、秋の特別供養として北前船感謝祭を、北海道で日本海に面する函館杉並支部、小樽花園支部、小樽色内支部の3支部が連携して感謝、御礼を込めて実施した。

北前船とは、江戸中期から明治時代にかけて北海道と大阪を往来、東北や北陸などへ寄港しながら、物流・交易のみならず、文化、歴史、人的交流など小樽や函館の発展に寄与した船のこと。

特別供養は、この北前船とその関連の神々、また北前船に関係した先人、先覚者など諸霊に対して、祭壇にはミニ米俵、お酒、塩、昆布、ニンジンなど秋の豊穡の野菜、果物、海産物などをお供えして、真心からの天茶供養を捧げた。



## 解脱金剛奉賛会 設立50年企画 奉賛会体験

## 幸せの源は報恩感謝の心と真心の布施行

江戸川支部 金原 眞一



今から20数年前、私の心得違いにより家族で解脱のみ教えから10年間も離れていました。それが今年8月に89歳で霊界入りした義母のお蔭で、私たち家族は再びみ教えに繋がることができたのです。

解脱の教えに戻ったばかりの14年前、私へ教区主催の奉賛会記念決起大会の司会進行のお役目の話がありました。大会には、法主さまとして今は亡き長老さまがご臨席され、各支部からは幹事を中心に100名以上が集い、久しぶりのお役目と多くの会員を前に私は否応なく緊張したのは言うまでもありません。

しかも当時の私は奉賛会員ではなく、このままでは申し訳ない、み教えの道に戻り最初に頂いたお役目が奉賛会記念大会であるのはご先祖さまのお導きと思い、支部長に相談して奉賛会入会を決めたのです。

奉賛会に入会してからは私の浪費癖も減り、夫婦で心を合わせ家族が一つとなり温かい家庭を築くことができました。

3人の子供たちは結婚し、今では5人の孫に囲まれる幸せな、じいじとばあばです。孫の名前も間違えることも少々ありますが、大変幸せを実感しています。

60歳を転機に変わった新しい会社からも信頼されてリーダーとしてお使いいただき、解脱会のお役目も副支部長、教区副担任部長、教区修法担当員と私にはもったい

ないお役目ばかりです。

義母からは生前、「無理しても人様のために使わせていただくお布施は、必ず自分に返る」「出さなければ、入らない」とよく言われていましたが、今ではお金では買えない大きな幸せを頂き、義母の言葉を実感しています。

義母に感謝して、子、孫、その先の世代に尊いみ教えを責任を持って伝えていきたいと思っています。

最後に、奉賛会入会のお蔭で無駄遣いも減り心に余裕もできました。金剛さまの泉山護持の御精神を思い、泉涌寺護持会員への入会を新たに心に決めて、私の体験原稿を終わらせていただきます。ありがとうございました。

## 令和4年度 本部布教活動方針

# 霊性の浄化と魂の覚醒を

### 世界は一人の心から 平和は一人の祈りから

世界は今、グローバル化が進む中で急激な変化を遂げています。時代は今、世界の動きにもなって新たな方向に進んでいます。社会は今、かつての常識が見直され価値観の転換が図られています。

科学技術の進歩によって地球は狭くなり、国際交流によって世界は近くなりました。しかし、グローバル化が大きな危険性を孕んでいることは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって露呈される形となりました。とともに、不安や恐怖の心に発する差別や攻撃の心を乗り越えて平和な世界を築くためには、相互の信頼と協力によって地球が一つにつながり、新たな方向性をもって取り組む必要性が深く認識されるようになりました。

近年の地球規模で現出するさまざまな現象には、全人類が気づくべき重大な意味があるに違いありません。規模が深刻さを増す自然災害や疫病などは、全人類に与えられた貴重な試練とも考えられます。

文明の進歩によって人類は、豊かさや安心を手にし、自由や平等を獲得した反面、自然環境は悪化し、人類の生存を脅かす核兵器や生物・化学兵器なども開発されてきまし

た。人智が開け、技術が進歩し、人力をもって自然を利用してきた人間中心の傲慢な歴史は、今や深い反省が求められ、絶対の法則のもとで万物が調和し、自然との共生に向かわなければ人類に明日はないことを知覚するに至りました。

今まさに魂の覚醒を得る絶好の機会ともいうべき非常重大の時期を迎えています。そして、今後も予断を許さない厳しい状況が生まれることも覚悟しておかなければなりません。いよいよ解脱の真価が問われる時です。いかなる事態に遭遇しても微動だにしない精神力は、解脱の道によって得られます。

私たちが生きるこの世界は、私たちの心が形になったものです。人心は世界です。一人の心が濁れば世界も濁り、一人の心が清まれば世界も清まります。平和もまた一人の祈りから始まります。非常事態を経験した私たちには、未来の子孫に明るい希望を与えるために、祈りと供養に徹することで仁愛と至誠の心を錬成し、その心を現実生活に表現して、人間として生かされている使命と責任を果たす役目があります。

この世に無意味に存在するものはありません。この世に役目がある限り、私たちは生かされます。生かされて生きている生命を確信し、感謝報恩の生活に徹すれば、安心立命が得られます。私たちの活動の主眼はここに 있습니다。

### 活動実践の重点項目

- ① 青少年育成に取り組む（青年部三聖地巡拝錬成への参加督励）
- ② 女性活動を推進する（『女性の活動プラン』の理解と普及の徹底）
- ③ 祈りと供養に真心を捧げる（天茶供養と萬部供養の普及を図る）

### 青年本部活動方針

## アクション! よりよい社会をつくろう

#### ◆全国青年部員の取り組み◆

#### ① 祈ろう!

●朝と夕に、神々様、五智如来様、解脱金剛さま、ご先祖さまにご挨拶をさせていただきます。

●ご先祖さまに感謝の気持ちを込めて天茶供養をさせていただきます。

#### ② 学ぼう!

●支部へ足を運び、支部長からご指導を頂き学びを深めましょう。

●支部行事や青年部活動に参加しましょう。

#### ③ やってみよう!

●家族の人たち、学校や地域の方々に、進んで挨拶をしましょう。

#### ④ 勇気をもって友達をさそってみよう!

●青年部行事にさそって一緒に参加しましょう。



☆今よりさらに充実した人生を送るために……全国の青年部員と一緒に、上記の取り組みをやってみましょう! 全国のどこかで、あなたと同じ時に、一緒にやっている仲間がいます。仲間との「大切な絆」を感じながら、あなた自身のために、取り組みましょう!

### 女性部

#### ●女性目標

#### 女性らしい女性

- ♡女性として生まれたことを喜べる女性
- ♡いのちを尊び育む力を発揮できる女性
- ♡和して前向きに凛と生きる女性



#### ●女性活動の目的

しっかりとした人物を育て、社会のために貢献する

#### ●活動実践目標

布教活動方針の重点項目「女性活動を推進する」に基づき、教区・支部にて勉強会を開き、『女性の活動プラン』の理解を深め普及を徹底しましょう。

※『女性の活動プラン』は解脱会ホームページからダウンロードが出来ます。

### こども会

#### ●こども実践目標

「ありがとうの気持ち」をことばにしよう

#### ●こども育成目標

思いやりのあるこどもを育てましょう

#### ●こども育成のための実践目標

家族の時間を大切にしましょう



「子育てや家族との時間」は「親の、自分の」大切な学びの時間です。思いやりの気持ち、感謝の気持ちを、こどもや家族と共に学び合い、「ありがとうの気持ち」を素直に表現できるこどもを育ててまいりましょう。